指導と評価の年間計画（シラバス）

学校番号	1205
大阪府立岬高等学校　総合学科	

令和　　2 年度　　芸術　　科

教科	芸術　　科	科目	音楽Ⅰ	単位数	2　　単位	年次	1　年次
使用教科書（出版社）	教育出版						
副教材等（出版社等）	音楽Ⅰ改訂版　Tutti						

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」「歌うこと」などについて年間を通して学習します。

・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。

・その他、時間ごとの全ての取り組みを評価します。

・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値があるものとなり、そうして感性が豊かになります。

・音楽が、生涯にわたって、皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2．学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし，音楽文化についての理解を深める。

3．学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽活動の喜びを味わい，音楽や音楽文化に関心をもち，主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きを感受しながら，音楽表現を工夫し，表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け，創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚 し，それらの働きを感受しながら，解釈したり価値を考えたりして，音楽に対する理解を深め，よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察　ワークシート	観察　ワークシート	演奏の聴取　提出作品	観察　ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	内容	題材名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	歌唱	校歌を歌おう	校歌 上を向いて歩こう 今、咲き誇る花たちよ 夏の思い出	○	○	○		a:様々な表現形態による歌唱活動に関心をもち，それらの演奏効果を生かして歌うことに主体的に取り組もうとしている。 b:音楽の諸要素知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら，歌詞の内 容をかかわらせて，様々な表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽表現を工夫して，どのように歌うか表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容とかかわらせて，イメージをもって音楽表現をするために，必要な歌唱の技能を身に付け，創造的に表している。	ワークシート 実技テスト 授業態度、姿勢 グループワーク 発表 観察等 演奏の聴取
	器楽	楽器に親しもう！①	ギター練習曲 ギター課題曲 リコーダー練習曲 リコーダー課題曲	○	○	○		a:楽器の音色や奏法に関心をもち，それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら，表現意図をもって演奏する工夫をしている。 c:楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。	ワークシート 実技テスト 授業態度、姿勢 グループワーク 発表 観察等 演奏の聴取
2学期	鑑賞	舞台芸術の世界	オペラ『蝶々婦人』 ミュージカル 『ライオンキング』	○			○	a:劇や物語と音楽のかかわりに関心をもち，意欲的に歌唱したり，演奏したり，鑑賞しようとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，作曲者･演奏者による表現の特徴を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，良さや美しさを味わっている。	ワークシーク 授業態度、姿勢 グループワーク 発表 観察等
	器楽	楽器に親しもう！②	ギターコード練習曲 ギターコード課題曲 リコーダー練習曲 リコーダー課題曲 ピアニカ練習曲 ピアニカ課題曲	○	○	○		a:楽器の音色や奏法に関心をもち，それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら，表現意図をもって演奏する工夫をしている。 c:楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。	ワークシート 実技テスト 授業態度、姿勢 グループワーク 発表 観察等 演奏の聴取
3学期	器楽	グループで工夫して自分たちのアンサンブルを作ろう	ギター･リコーダー･ピアニカ アンサンブル曲	○	○	○		a:グループで合奏することに関心をもち，声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して，主体的に取り組もうとしている。 b:楽器の特徴を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら，音色や奏法の特徴を生かした演奏方法を工夫し，どのように演奏するか表現意図をもっている。 c:楽器の音色や特徴を生かした音楽表現をするために，必要な器楽の技能を身に付け，創造的に表している。	ワークシート 実技テスト 授業態度、姿勢 グループワーク 発表 観察等 演奏の聴取